

traverse24 お詫びと訂正

平素より本誌をご愛読いただきまして誠にありがとうございます。

この度、traverse24 における掲載記事「学生座談会—改めて『創造の場』を考える—」において、事実と異なった内容があるとのご指摘を受け、関係者様と再度事実確認を行った後に本文の内容修正と補足を行いました。

事実確認の結果、まず下記のような経緯でデザインラボの改装が行われたことがわかりました。

デザインラボ改装についての議論・経過

7月：

- ・院試前に片づけを各時行うよう4回生グループにて、ラボ委員が連絡をするが、片付かない。ラボ委員は4月にデザインラボ利用者による多数決で決まった者である。

8月：

- ・産業医からデザインラボの安全衛生環境に問題があるという指摘を受けたことが、教員から学生に伝えられる。産業医とは労働安全衛生法に則り、労働環境の安全・衛生に関して事業所へ勧告を行う医師であり、事業所はその勧告を尊重する義務を負う。

9月：

- ・指摘を受け、環境改善の対応を行う委員としてラボ活用改善委員を選出する。4回生全体を対象として、ラボ委員が募集・多数決を仕切り、多数決を行った。
- ・デザインラボ利用者を対象に意見募集を行い、共有する。有志による複数回の議論を通して、片づけ・改装計画を決める。
- ・ラボ活用改善委員から学生間の話し合いの結果を教員へ連絡し、ラボにあるゴミの廃棄にかかる費用を学生が負担しなくて良いようお願い出る。
- ・片づけ方法案と、配置換え案を全体に提示する。
- ・追加で意見を収集の上、有志による話し合い・模型製作を経て、ラボの座席の新配置が決まる。

10月：

- ・ラボ改装を行う旨を1回生から3回生の製図室委員と4回生ラボ委員が行う話し合いにて報告する。他の共有事項を含め1回生～3回生にも計画を通知。
- ・実際に計画に則り、配置換えと片づけを行う。配置完了後に研究室単位での利用範囲を決め、各研究室の4回生それぞれの席が決まる。

11月：

- ・学生の費用負担なしに大型ゴミの廃棄が完了する。

しかし、手続きに関する全ての経緯がデザインラボ利用者に共有されていたわけではなく、ラボ活用改善委員間や教員間のみで議論された内容に関する経緯など、デザインラボ利用者に伝わりきっていない部分が存在しました。当該記事では、ラボ改装に至った実際の経緯と、改装手続きに関して一部経緯を知らなかったデザインラボ利用者としての印象を混同した表現を行っておりました。

読者の皆様には、事実と見解について明確に区分しないまま誤解を招く表現をし、またその事実に関しても一部異なる部分がありましたことをお詫び申し上げます。

また、デザインラボ改装に携わった関係者の方々の名誉を毀損する内容を発信してしまったことをこの場を借りて深くお詫び申し上げます。

本ページは教員とインタビューのみではなく、ラボ活用改善委員、他のデザインラボ利用者へのヒアリングを元に作成しました。ご協力いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

修正後の記事はweb版にて公開しております。

今後は再発防止に努め、皆様の信頼に応えるべく一層努力してまいります。

何卒、変わらぬご愛読を賜りますようお願い申し上げます。

traverse 編集委員会
traverse24 編集長 千葉祐希
traverse24 副編集長 森田健斗

